

はこまち通信 函館山の麓、西部地区からまちづくりと一緒に!

クーポラ

2024.4

vol. 68

3月にセンター長が
交代しました！

前センター長
丸藤 競

新センター長
仙石 智義

Contents

2024.4 vol.68

- P2 特集『NPO法人の事業年度終了後の主な事務スケジュールやその手続き』
- P4 新センター長 仙石 智義のご紹介
- P5 市民活動団体のご紹介「函館の歴史的風土を守る会」
- P6 はこだて暮らし／Shop Information
- P7 INFO&TOPICS
- P8 前センター長 丸藤よりご挨拶／配布先・問い合わせ先

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



まちづくりセンター公式
YouTube チャンネル

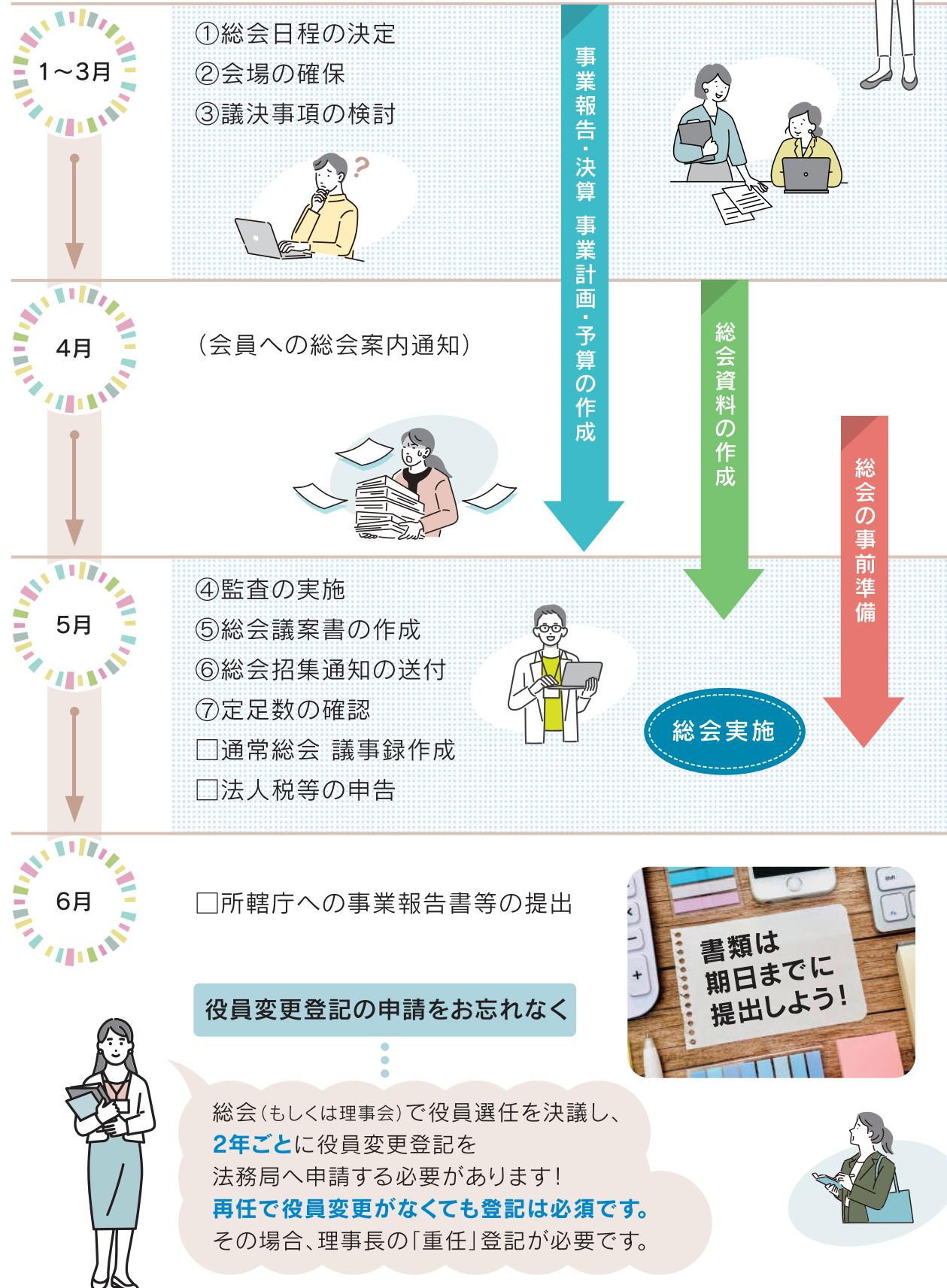


公式WEB

NPO法人は事業年度終了後に様々な手続きが必要になりますよね。

通常総会やその他必要な手続きについて改めてご紹介します!

※3月末日で事業年度が終了し、5月に総会を開催する場合



このような総会の開催方法もあります

特定非営利活動促進法(以下「法」)上、NPO法人は年に一度総会を開催しなければならず(法第14条の2)、事業年度終了から3ヵ月以内に前事業年度の事業報告書等を所轄庁に提出しなければなりません(法第29条)。

組織の規模が大きくなり、理事や会員が遠隔地に散らばり、集まることが難しくなったなど、例年通りの通常総会の開催が困難であるNPO法人については、次の①から③までを参考にしてください。

①IT・ネットワーク技術の活用による総会(内閣府Q&A)

会員が実際に集まらずとも、様々なIT・ネットワーク技術を活用することによって、実際上の会議と同等の環境が整備されるのであれば、通常総会を開催したものと認められます。その場合、自由に発言できるマイク・スピーカーが準備され、その発言を他者や他の会場にも同時に伝えることができる情報伝達の双方向性、即時性のある設備・環境が整っていることが必要です。



感染症等の拡大により、総会の開催が難しい場合には、以下のような開催方法もあります。

②書面表決及び表決権の代理行使(法第14条の7第2項関係)

通常総会に出席できない会員は、書面で、又は代理人によって表決をすることができます。書面、または表決委任を行った会員も含めた出席者数が、定款に定める総会開催の充足数を満たせば、実際に多数の会員が集まらずとも、通常総会を開催することができます。

※留意事項

- 定款の定めるところにより、議長や理事長及び議事録署名人等の参集が必要です。
- 定款で定めるところにより、書面による表決に代えて、電磁的方法(電子メール等)により表決することができます。

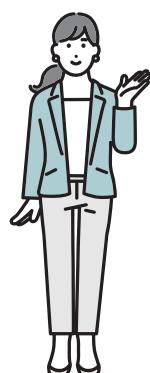


③みなし総会による決議(法第14条の9関係)

理事又は会員が通常総会の目的である事項について提案した場合において、当該提案につき会員全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の通常総会の決議があつたものとみなされます。

※留意事項

- 提案事項はあらかじめ表決権を持つすべての会員へ通知する必要があります。
- 全員の同意が必要のため、全員から回答が得られない場合や、一人でも反対の意思表示をした場合は適用できません。
- みなし総会による決議をした場合は、みなし総会用の議事録を作成しましょう。



総会の議決は、会員が運営に直接参画できる法人の根幹を成す重要な事項です。
上記の方法は総会の開催が困難な状況下や緊急性のある場合に限られることが望ましいです。
今後、恒常的に上記①から③の方法により総会を行う場合は定款に記載するようにしましょう。

参考サイトのご案内

北海道庁『北海道のNPO』
特定非営利活動法人の手続き

内閣府NPOホームページ
「新型コロナウイルス感染拡大に係る
NPO法Q&A」

認定NPO法人市民セクターよこはま
「NPO法人の事務支援(総会編)」



所属団体



こんな人です

- NPO法人函館市青年サークル協議会
- 函館景観まちづくり協議会
- サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊
- 公立はこだて未来大学同窓会
- 函館市明るい選挙推進協議会
- 函館市二十歳の集い(旧成人祭)実行委員会
- 市立函館博物館友の会



「科学楽しみ隊」として、イベントに
サイエンスショー(大気圧でドラム缶つぶし)で出展
(2019年)



「開港5都市景観まちづくり会議2023函館大会
(函館景観まちづくり協議会)」でまちあるきを企画(2023年)

好きなもの

- ガンダム(宇宙世紀以外もイケます)
- ラーメン(函館人だけど正油派)
- 犬(特に「柴orコーギー」)
- 劇団四季(特に「ウィキッド」)



「万年橋小 探求授業」で
函館の歴史について講話(2023年)



好きな言葉

温故知新



「劇団G+」創立10周年記念公演で
居酒屋の店員役(2013年)



趣味・特技

- マラソン(体型からは想像がつかない…)
- 観劇、デザイン、写真、書道など



「青年センターフェスティバル」告知のため
NCVに出演(2015年)



合同学園祭「大門祭」で
未来大 伊東学長(当時)と
(2002年)

ごあいさつ

まちセンオープンから17年!これまで利用者として施設に入りしておりましたが、ご縁があって2代目センター長になりました。丸藤センター長が築いてくれた土台をもとに、まちセンと一緒に成長を重ねてまいります!

また、これまで公私ともに様々な活動に関わってきましたので、その経験をいかして利用者の皆さんのお役に立ちたいと考えております!「こんな活動を始めたいけれど、まずはどうしたらいいの?」などの相談に応えるだけではなく、デザインのスキルをいかして情報発信のお手伝いもできればと考えております。お気軽にお声がけください!



「NPOまつり」で
澤田石スタッフと(2015年)

センター長 仙石 智義



市民活動団体のご紹介

活動
団体

函館のまちづくりに貢献 ～函館の歴史的風土を守る会（歴風会）～

元町公園にある旧北海道庁函館支庁庁舎（現 Jolly Jellyfish 元町公園店）が「北海道開拓の村（札幌市）」に移転する話が持ち上がった際、のちに会員となる人が北海道新聞社に反対意見を投稿したことが発足のきっかけです。函館に根付く文化的価値の高いものを後世に残して歴史的風土を守り、函館を活性化させたいという思いで活動しています。

当会は創設から今年で46年目となり、函館市内で伝統のある市民活動団体の1つです。

活動の柱は3つです。歴史ある建物や風景に対して表彰する「歴風文化賞」の選定、若い世代に函館の風景を心に残してもらうための「ふるさと写真コンクール」の実施、そして、いただいたお金を伝統的建造物の保存に活用する「チャリティーパーティー」です。これらの活動を通じて、函館のまちづくりに貢献しています。

当会の特徴は、会員の層の厚さです。学識経験者や行政職員、民間企業の役員など、見識を持った会員同士が研鑽を重ね、お互いを高め合っています。

もちろん函館の歴史やまちづくりに対する思いがある方はどなたでも入会できますので、まずはお気軽にお問い合わせください。



団体設立のきっかけや活動内容などの
詳細はまちセンHPで

<https://hakomachi.com>



函館の歴史的風土を守る会（歴風会）

会長／佐々木 馨

設立／1978(昭和53)年4月

会員数／80名

活動場所／〒040-0001 函館市五稜郭町43番9号
五稜郭タワー株式会社内

問合せ／0138-51-4785(佐々木)

<https://www.hakodate-rekifukai.com/>

市民活動団体のみなさまへ

市民活動団体のみなさんに役立つ情報をお知らせしてまいります

△3階印刷室をご利用ください△

■印刷機使用料金 ※印刷用紙をお持ち込みください。

- ①製版代／1枚 100円
- ②印刷枚数／10枚まで 10円
(以後10枚ごとに10円加算となります)

※①製版代 + ②印刷枚数
の代金が必要です



印刷・コピーとも
コイン式です。
小銭をご用意ください。

△横断幕・ポスター・プリント承ります△

■横断幕 (610mm×1.5m)

1枚 2,400円～

■ポスター A2版 (420mm×594mm)

1枚 1,200円～

※横断幕は文字原稿を、

ポスター等はPDFデータ形式にてお持ちください。

※お引渡しまでの日数は、内容によって異なります。

※詳しくはお問合せください。

はこだて暮らし

「はこだて」での生活を
はじめてみませんか?

函館市地域交流まちづくりセンター内にある

「移住サポートセンター」では、

函館市への移住定住相談窓口としてご相談・お問合せ等に対応しています。



2月10日(土)に“移住club函館×まちセン茶論”として合同開催した
「～先輩移住者とモルックをしながらお話ししよう～」のご報告

移住サポートセンターでは市民や移住者のお話会「まちセン茶論」を月1回開催しています。2月10日(土)のまちセン茶論は特別編として、「移住club函館」の皆さんと一緒にモルックを行い、楽しく交流をすることができました！



▲同じチームの参加者の奮闘に喜ぶ

モルックは大盛り上がりで、次第にゲームに夢中になっていく皆さんの姿がとても印象的でした。モルックをしながら、参加者同士で函館への移住についてお話しする様子も伺えて嬉しかったです。



▲移住について相談中

◀参加者の皆さんで記念撮影



▲▼白熱しているモルックの様子



◀目当てのスティックに当たった!

これからも皆さんの「はこだて暮らし」を充実させるために色々な企画を考えていきましょう、またお気軽に遊びにいらしてください！

「移住club函館」は函館移住を応援する市民活動団体で、各種イベントを企画し、会員間だけでなく、様々な方々と交流できる活動をしています。現在会員募集中ですので、ご興味のある方はこちらからお問合せください！



ご相談方法は4つ！



ご来館



お電話



メール



オンライン相談
(Zoom)

移住サポートセンター

(函館市地域交流まちづくりセンター内) ☎040-0053 函館市末広町4-19
相談窓口／9時～21時(年末年始を除く)

☎ 0138-22-9700 ✉ info@hakomachi.net

移住サポートセンター
(函館市地域交流
まちづくりセンター内)



はこだて暮らし
Instagram
@hakodatekurashi
移住サポートセンター



Shop Information

1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- 営業時間／10:00～15:00
- 定休日／土日祝日・施設休館日
- 授産製品を扱っています。



函館みやげにオススメのクッキーをはじめ、
布バッグや布ぞうりなどのハンドメイド雑貨も豊富です。

☞【オススメ】ハイカラ號サブレ 750円(税込／5枚入)

バター風味でサクサクして美味しいサブレです。
箱を折りたたむとハイカラ號の形になり、
お子さんに人気です！

1F 喫茶コーナー Cafe DripDrop

- 営業時間／10:00～17:00 (変更の場合あり)
- 定休日／水曜日・施設休館日
- 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか？
営業時間など最新情報はお店のSNSをご覧ください▼



☞【オススメ】紅茶 440円(税込)

ダージリン・セイロンなどをポットで
ご提供しています。冷めないようにティーコジーを
かぶせてたっぷり2杯分。



[喫茶・ショップお問合せ先] 電話 0138-22-9700 函館市地域交流まちづくりセンター



2023年12月17日(日)

NHK函館放送局の夕方のニュースでお馴染みの丸山さんによる講演会を行いました!

NHK函館放送局「ほっとニュース函館（平日午後6時40分から放送中）」の気象キャスター 丸山 将さんによる「親子で学ぼう！気象情報の見方、活かし方」を、まちづくりセンター2階多目的ホールにて行いました。

お天気クイズや、日々テレビで見る気象情報の活用方法、天気予報の作り方の実践コーナーなど、気象に関する情報が盛りだくさんの1時間でした。

子どもたちはクイズや質問コーナーで積極的に手を挙げてくれ、講演を存分に楽しんでくれているようでした。子どもたちだけでなく、大人も大変勉強になる講演会でした！丸山さん、ありがとうございました！



▲最後はみんなでお天気ポーズ！



2024年1月9日(火)～1月25日(木)

かいせいカレンダー市は今年も大盛況！

かいせい協力会による「カレンダー市」が、まちづくりセンター1階ギャラリーにて開催されました。

地域の方々から寄付されたカレンダーやスケジュール帳などを配布する、毎年大人気のイベントです。会場には募金箱を設置し、寄せられた義援金は障害のある方々や能登半島地震の支援へ活用されます。

イベント初日は開場前から約50名の方々にご来場いただき、スケジュール帳などがあつという間に無くなるほどの盛況ぶりでした。



▲種類が豊富なカレンダーを吟味中



2024年3月10日(日)

満員御礼！「伝わる情報発信」のコツを学ぶ講座は大好評でした！

まちづくりセンター主催の市民活動基礎講座「伝わる情報発信とは？」をまちづくりセンター2階多目的ホールにて行いました。締切日を待たずして定員に達したため、情報発信に力を入れたい方の多さに驚きました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました！

講師はライター歴20年の「函館イベント情報局」編集長の佐々木康弘さんと、グラフィックデザイナーとして活動してきたまちづくりセンター長の仙石でした。佐々木さんからは効果的な広報戦略を中心にお話いただき、仙石からはデザインの力で活動をPRする際のコツをお伝えしました。

また、ご自身の団体のチラシをご持参いただいた方へのコメントや、団体紹介文を作成するワークショップもを行い、内容が盛りだくさんの2時間でした。



▲前半の講座の様子

「はこまち通信クーポラ」のクーポラとは？

教会などの屋根上部に取り付けられた半球型の構造物を指します。

1923（大正12）年に建てられた旧丸井今井百貨店函館支店をリノベーションし2007年にオープンした地域交流まちづくりセンター。

その外観を印象づける『クーポラ』を、広報誌名でも使用しています。



前センター長 丸藤より～ご挨拶～

『キンジョ・ゴキンジョ』

1月1日の夕方というのは、1年で最も平和で、のんびりとした家族団らんの時間になっているご家庭が多いはずなのに、いきなりの緊急地震速報でその様相が一変。翌日の航空機事故や、昨年末から騒がれている裏金問題などもあり、なんとも重苦しい年明けになってしまいました。

災害が発生した時、“共助”的大切さが良く言われます。確かにその通りなのですが、私は同じくらい大切なこととして、「キンジョ(近助)」という言葉をお伝えしています。災害の時はもちろん、普段の暮らしの中でも、様々な困りごとが起り、1人では解決できないことも数多く出てきます。そのような時に、最も頼りにすべきなのが近くに居る人。どこかで迷惑をかけあい、プライバシーには深入りせず、でも少しだけ関心をもつていて。そして、困っているな・変だなと思ったら“できること”をして助けてあげる。これが「近助」です。その“助ける”がお互い様になると「ゴキンジョ(互近助)」になります。

困った時は助け合うという「互近助」の考え方には、個人だけではなく、地域や自治体、国家間にも必要で、そ

のことが争いや飢餓などのない平和な世界をつくりだしていくのだと、この言葉の提唱者である山村 武彦氏はおっしゃっています。

近くに住んでいる人同士がゆるやかに顔見知りで、「大丈夫ですか?」「私でできることがあれば」と言い合えるようになれば、普段も暮らしやすく災害の時にも困難を乗り越えることができる「命と暮らしを守る地域」づくりにつながります。それを世界中に広めていく。まちづくりの原点は、ここにあるのだと思っています。

最後になりましたが、2007年のオープン以来センター長をさせていただいていた、函館市地域交流まちづくりセンターを2月末で退職いたしました。

この間、多くの方と出会い、様々な経験ができました。その全てが、私の宝物になっています。3月からは仙石新センター長のもと、今まで以上に良い施設を目指し活動していますので、引き続きご指導・ご協力よろしくお願ひいたします。

ありがとうございました。

どこかで見かけたら

気軽に声をかけてください!



配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポン』 2024年4月 vol.68

【発行】 函館市地域交流まちづくりセンター
〒040-0053 北海道函館市末広町4-19
TEL. 0138-22-9700
FAX. 0138-22-9800

閩 館／9:00~21:00

休館日／12月31日

このほか器材点検のため月1回程度

<https://hakomachi.com>



MAP



建物裏手に駐車場あり。
2時間まで無料。

指定管理者／
NPOサポートはこだてグループ
(2007年4月～)



●主な配布先(敬称略)

- ◇函館市役所1F
 - ◇亀田支所
 - ◇湯川支所
 - ◇錢亀沢支所
 - ◇戸井支所
 - ◇恵山支所
 - ◇榎法華支所
 - ◇南茅部支所
 - ◇函館市中央図書館
 - ◇渡島総合振興局
 - ◇亀田交流プラザ
 - ◇函館市企業局アクロス十字街
 - ◇総合保健センター
 - ◇函館市民会館
 - ◇函館アリーナ
 - ◇函館市公民館
 - ◇函館市女性センター
 - ◇函館市青年センター
 - ◇函館市コミュニティプラザGスクエア
 - ◇函館市青少年研修センター
ふるる函館
 - ◇中島れんばいふれあいセンター
 - ◇函館市総合福祉センター
あいよる21
 - ◇函館市勤労者総合福祉センター
サン・リフレ函館
 - ◇どさんこ交流テラス
(東京 有楽町)

『はこまち通信クーポン』に関するご意見、ご感想をお寄せください。HPにメールフォームがございます。

次号は7月末発行予定です(年4回)